



# **SD & Quantum**

## **V1619 Release Notes**

2022 年 10 月

## 目次

1.0 OSC タッチパナー・チャンネル・コントロール.....	3
1.1 Mustard Processing の使用状況表示 .....	4
1.2 シアターチャンネルスコープ詳細パネル .....	4
1.3 新しいログ・メッセージ .....	5
1.3.1 Worksurface Section ステータス.....	5
1.3.2 オプトコア・ループの中断 .....	5
1.4 その他の新機能.....	5
2.1 エラー修正.....	6

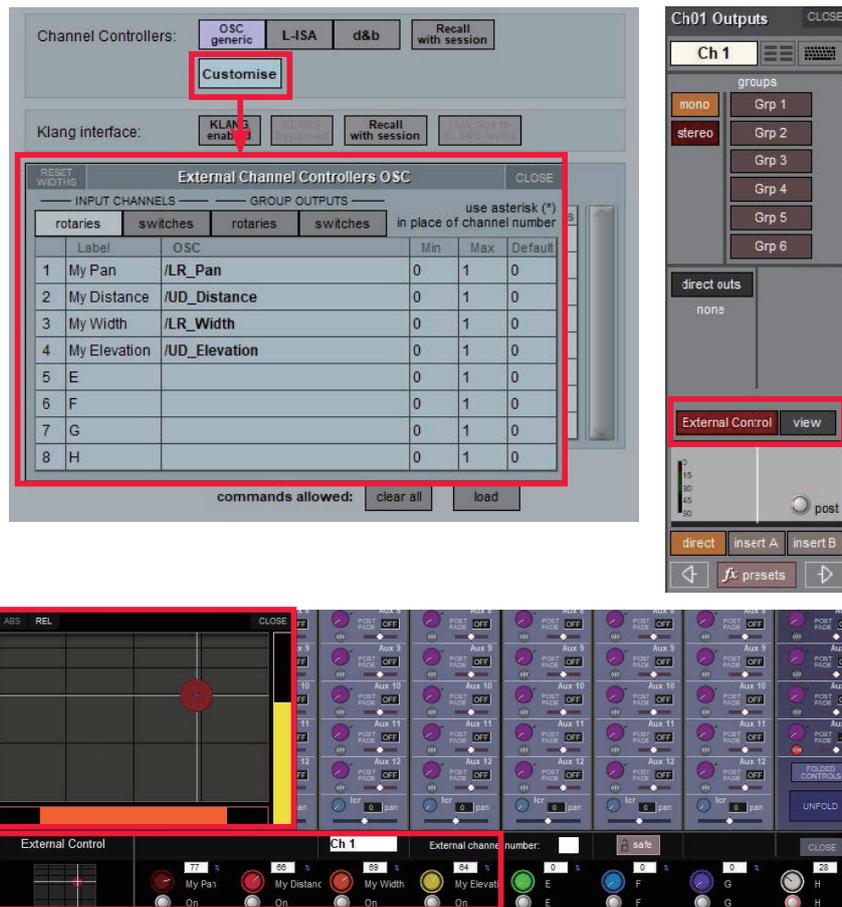
## 1.0 OSC タッチパナー・チャンネル・コントロール

**Setup > External Control** で、一般的な OSC デバイスに関連するパンニングコントロールのための新しいインターフェイスを有効にすることができます。channel controller を表示するには、**External Control** ボタンを選択し、**View** を押します。

External Control パネルの左側にある小さなパンニングディスプレイをタッチすると、より大きなインタラクティブなバージョンが表示されます。

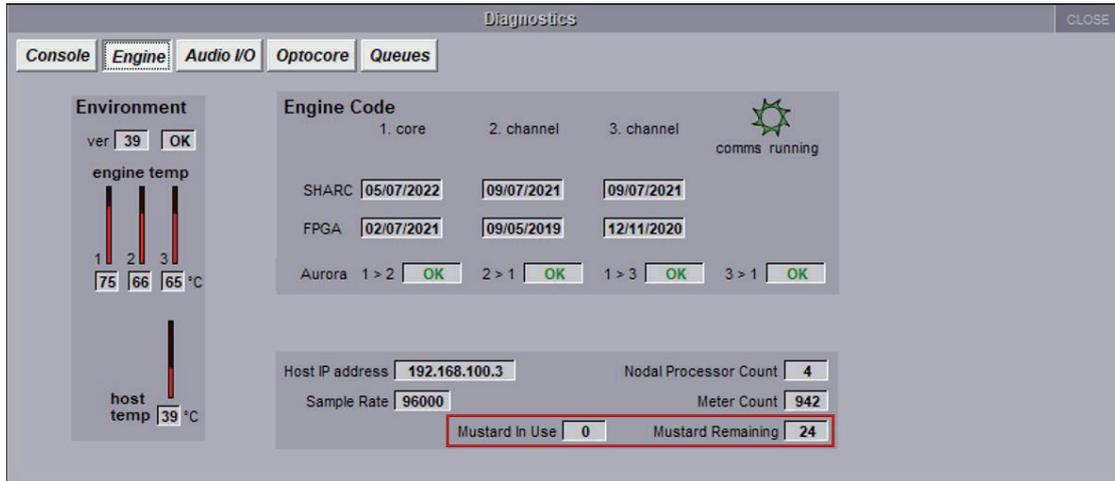
外部デバイスへのパンメッセージに汎用 OSC コントロールを使用する場合、新しい拡張パネルのグラフィカルなタッチコントロールは、標準の外部コントロールパネルの最初の 4 つのロータリーコントロールと重複しています。

この 4 つのコントロールにパンニング・パラメーター用にカスタマイズしたメッセージ（下の画像の例を参照）を追加すると、新しい拡張パネルを使った別のインタラクション方法が提供されます。



## 1.1 Mustard Processing の使用状況表示

**System > Diagnostics > Engine** で、現在の使用中または使用可能な **Mustard Processing** を表示する新しいカウンターが追加されました。



このインジケータは、現在のセッションで使用可能な **Mustard Channel Processing** のインスタンスの数を表示します。

## 1.2 シアターチャンネルスコープ詳細パネル

シアターモードでは、新たに「チャンネルスコープ詳細パネル」が追加されました。

**Master** 画面から **Layout Menu > Channel Scope** ボタンを選択します。

メインチャンネル画面からコンソールチャンネルを選択し、Cuelist からキューを選択します。

これは表示専用のパネルであることにご注意ください（ここから設定を調整することはできません）。特定のキュー内の特定のチャンネルに関連するすべてのスコープ設定の概要を素早く参照できるようにするものです。

その後、別のチャンネルやキューを選択してもパネルは開いたままで、現在の選択の詳細が常にパネルのタイトルバーに表示されます。

Cue 5.00 - Channel Scope Details for Ch 14: Ch 14														CLOSE
	input/trim	delay	filters	eq	dynamics	inserts	sends	fader	mute	panner	to groups	outputs	external	
	recall update													
global scope	✗	✗	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✗	✓	✓	
section scope	✗	✗	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✓	✓	✓	
group section	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✗	✗	✗	✓	✓	✓	✓	
cue scope	✗	✓	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✗	✓	✓	✓	✓	
relative changes	✓			✓	✓		✓	✓						
crossfades	04:00		00:00	00:00	04:00		00:00	04:00		00:00			00:00	
auto-exclusions									✓					

## 1.3 新しいログ・メッセージ

診断レポートには、ワークサーフェスの動作と Optocore ループの中断に関連する 2 つの変更があります。

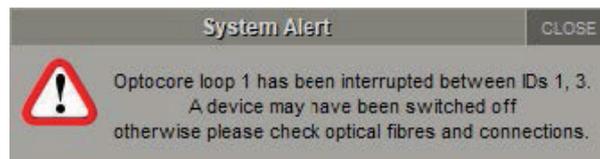
### 1.3.1 Worksurface Section ステータス

ワークサーフェスに問題が発生した場合、どのサーフェスが応答を停止したかを表示するようになりました。

```
Log.txt - Notepad
File Edit Format View Help
18/08/2022 09:14:56 0000000065 Primary audio sync 0.0kHz MASTER
18/08/2022 09:14:56 0000000073 Primary audio sync 0.0kHz MASTER
18/08/2022 09:14:57 0000000169 AudioMaster switched to MASTER
18/08/2022 09:15:02 0000000642 Engine SHARC dates: 05/07/2022 09/07/2021 09/07/2021
18/08/2022 09:15:02 0000000642 Engine FPGA dates: 02/07/2021 09/05/2019 12/11/2020
18/08/2022 09:15:03 0000000749 Primary audio sync 48.0kHz MASTER
18/08/2022 09:16:45 0000010966 ** System Alert: Work surface section 3 (on COM7) has stopped responding.
18/08/2022 09:17:40 0000015115 ** System Alert: Work surface section 3 (on COM7) has stopped responding.
18/08/2022 09:23:39 0000050990 ** System Alert: Work surface section 3 (on COM7) has stopped responding.
18/08/2022 09:23:53 0000052362 closing session
18/08/2022 09:23:57 0000052764 DMI 1 Client disconnected
18/08/2022 09:23:57 0000052764 DMI 2 Client disconnected
18/08/2022 09:23:58 0000052764 normal shut down
18/08/2022 09:23:58 0000052764 Engine Client disconnected from engine
```

### 1.3.2 オプトコア・ループの中断

Optocore ループが中断された場合、新システムのアラートが表示され、ID が記録されます。



```
06/10/2022 10:06:16 0000000000 Quantum2 Host version 39
06/10/2022 10:06:17 0000000018 Engine Client connected to engine
06/10/2022 10:06:17 0000000018 DMI 1 Connected to server
06/10/2022 10:06:17 0000000019 DMI 2 Connected to server
06/10/2022 10:06:17 0000000046 loading session d:\quantum2\startup.ses
06/10/2022 10:06:17 0000000055 starting session
06/10/2022 10:06:17 0000000055 Primary audio sync 0.0kHz MASTER
06/10/2022 10:06:17 0000000062 Primary audio sync 0.0kHz MASTER
06/10/2022 10:06:18 0000000156 AudioMaster switched to MASTER
06/10/2022 10:06:21 0000000483 Engine SHARC dates: 05/07/2022 09/07/2021 09/07/2021
06/10/2022 10:06:21 0000000483 Engine FPGA dates: 02/07/2021 09/05/2019 12/11/2020
06/10/2022 10:06:23 0000000603 Primary audio sync 48.0kHz MASTER
06/10/2022 10:07:13 0000005637 ** System Alert: Optocore loop 1 has been interrupted between IDs 1, 3.
06/10/2022 10:07:41 0000008472 closing session
06/10/2022 10:07:43 0000008667 DMI 1 Client disconnected
06/10/2022 10:07:43 0000008667 DMI 2 Client disconnected
06/10/2022 10:07:50 0000008667 quitting to Windows
06/10/2022 10:07:50 0000008667 Engine Client disconnected from engine
```

従来は、中断の報告はされても、ID は記録されませんでした。このため、Optocore ループ内の問題をより正確に診断することができます。

## 1.4 その他の新機能

- Quantum 3 のシアターバージョンのソフトウェアがリリースされました。

## 2.1 エラー修正

Copy Audio Preset Macros の Recall と Rename が正しく動作しませんでした。

Mustard Processing が Active のバスは、True Solo が有効な場合、ソロバスで聞くことができませんでした。

NAGA 6 で Spice Rack を開いた時、Spice Rack でリコールの範囲外のセッションを restructure した場合、画面上にシステムメッセージが表示されることがありました。

Orange Box の DMI MAD I カードを Dual Mode に設定すると、ポート B のオーディオチャンネルの一部がオフセットされることがありました。

96kHz のセッションで、セッションロード後にソロバスで歪みが聴こえるものがありました。

Quantum 7 Engines は、Optocore Network 上でビデオを送信できませんでした。

CG をスピルして次のスナップショットを fire(recall) するマクロを作成すると、フェーダーがリンクしていました。

拡張 Aux パネルが開いているとき、同じバンクの入力チャンネルの後に Aux 出力を選択すると、Access Violation (アクセス違反) が発生することがある。

Quantum コンソールで、HSDSI カードのコントロール情報が報告されない。

Nodal processing のコントロールパネルを開いたままチャンネルの位置を入れ替えると、Access Violation (アクセス違反) になることがある。

同じ Aux ノードで Nodal Processing と KLANG のコントロールを有効にすると、Application Error が発生することがある。

Quantum 225 と 338 で、エンコーダのタイムアウトが短すぎて、EQ とダイナミクスのパネルがランダムに開いてしまうことがある。

Quantum Aux ノードのピックアップポイントを、Quantum 以外のコンソールの Aux ノードパネルで選択できるように改善。

シアターセッションを restructure すると、ステレオバスの右 ch からすべてのセクションの割り当てが削除される。

F12 キーを押した時のワークサーフェスリセット性能を改善。





ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563

E-mail: [info@hibino-intersound.co.jp](mailto:info@hibino-intersound.co.jp) <https://www.hibino-intersound.co.jp/>

- 商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。
- 掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。
- 記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。